

# 公明党要望項目一覧

平成30年度6月補正分

要望項目	左に対する対応方針等
<p>○鳥取砂丘コナン空港グランドオープンに向けての要望</p> <p>空の駅化のなかで、空港の大がかりな改修整備とツインポート化の完成の一大イベントであり、鳥取砂丘コナン空港と名称変更しておこなったオープニング以上のイベントにする必要がある。全国・全世界にPRする絶好の機会である。空の駅の今後も含めて以下の要望をおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* コンセッション方式で運営権を移譲するからといって、グランドオープンの式典等については、鳥取空港ビルまかせにしないこと。空の駅化は鳥取県の主要施策であり、これまでの経緯からも鳥取県が責任をもっておこなうこと。</li> <li>* 空の駅、ツインポートを世に知らしめ、鳥取県観光と賑わい創出するためのまたとないチャンスがグランドオープンである。早急に準備にとりかかり、広くPRすること。平成27年3月1日におこなわれた鳥取砂丘コナン空港のオープニング以上の催しにすること。</li> <li>* グランドオープンについては、行政や関係者、議会などによる式典だけに終わらせることなく、「お祭り」として、県民や観光客を巻き込んで賑やかに実施すること。</li> <li>* 鳥取砂丘コナン空港の管理運営は鳥取空港ビルが担っていくが、ソフト面を中心とした空の駅化推進については、これまでの県の方針通り、県庁内にプロジェクトチームを作り、運営会社と連携しながら推進すること。</li> <li>* 空の駅化については、県土整備部では限界がある。その証拠にいまだに毎議会ごとに激しく議論を交わさなければ前に進まない現状がある。7月に行われるであろうグランドオープンについても、具体的な取組を未だ聞いていない。よって、庁内プロジェクトチームはソフト面の企画と実行ができるよう必要な部署から人材を集め、責任者は部長級を当てて権限を持たせ、早急に立ち上げられたい。十分な内容で実施が間に合わないようならば、時期を延期してでも納得いくものにされたい。ただ、夏の鳥取砂丘コナン空港グランドオープン、秋の鳥取砂丘ビジターセンターオープンと季節を続けて一大イベントを実施するチャンスはめったになく、分けて実施するのがベターである。</li> </ul>	<p>左に対する対応方針等</p> <p>グランドオープン、空港の民営化、空港ビルの一体化、かにつき空港ロード整備等により新しく生まれ変わる鳥取砂丘コナン空港の魅力を広くPRする好機ととらえ、県庁関係課・鳥取市・鳥取空港ビル株式会社及び広報の専門事業者等による企画会議を開催しながら、御提示いただいた祭りのアイデアも踏まえつつ式典、記念イベント、広報活動を総合的に実施し、空の駅、ツインポートの魅力を積極的にPRする。</p> <p>空の駅、ツインポートを推進していく上で、「鳥取港賑わいづくり検討会」や「鳥取砂丘コナン空港「空の駅」推進検討会」、「ツインポート推進懇談会（仮称）」など、様々な機会をとらえ関係者の意見を聞きながら進めることにしている。現在、これらの意見を踏まえ、鳥取空港ビル株式会社と連携しながら庁内横断的な企画会議を開催し、7月下旬に予定しているグランドオープンに向け準備を進めている。</p> <p>今後のツインポートの推進にあたっては、鳥取空港ビル株式会社等と連携しながら庁内横断的な体制を整え、「空の駅」化、ツインポート化を推進する。</p> <p>鳥取砂丘コナン空港グランドオープンの際に、秋の鳥取砂丘ビジターセンターオープンについての事前PRを行い、県内外へ向けた機運醸成を図る。</p> <p>また、鳥取砂丘ビジターセンターオープンにおいては、鳥取砂丘コナン空港等において砂丘への誘導施策を展開し、併せて、鳥取市はじめ、観光業者、アクティビティ業者等の地元関係者と連携を図り、鳥取砂丘の食・アクティビティ・自然などの魅力を体感できる賑わいイベントを実施することにより、砂丘の魅力発信及びリピーター確保を図る。</p> <p>さらに、ビジターセンターで、砂丘を核に県域を越えたジオエリアの観光情報を発信することにより、周遊性の向上など、双方のグランドオープンによる相乗効果を図っていく。</p> <p>鳥取砂丘コナン空港の駐車場対策については、今年度、約140台の整備を行うことにしている。グランドオープン時には約90台分が利用可能となり、残工事も早期完成を図り供用する。さらなる整備については、駐車場の利用状況を確認しながら、必要に応じて検討する。</p>

要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
<p>*お祭りとしてのアイデアを提示するので参考にされたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空港内の店での特別セール</li> <li>・ 記念品も含めた物販販売、出店・フードワゴン</li> <li>・ 空港場内外スペースを使った郷土芸能、(無名) ミュージシャン大会</li> <li>・ 空港スペースをつかった(駆け出し) お笑い芸人大会</li> </ul> <p>〈「鳥取砂丘」と「コナン」、「空港」の三者が連携してイベントをおこなう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コナンの着ぐるみ、コスプレ大会</li> <li>・ ファッションショー</li> <li>・ 鳥取砂丘でポケモンGOイベント</li> <li>・ セスナの空中散歩</li> <li>・ 自衛隊機の飛行</li> </ul> <p>〈ツインポートを活かした取組〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ かるいちとわったいなでイベント(白いか、岩ガキ、肉フェスタ、鳥取和牛、バーガー等)</li> <li>・ かにっこ空港ロード周辺での砂場スポーツ大会(ビーチバレー、ビーチサッカー)</li> <li>・ 賀露海水浴場祭り</li> <li>・ 花火大会</li> <li>・ 海の祭り</li> <li>・ 賀露の海岸や白兎海岸等でのサーフィン大会</li> <li>・ ウオーキング大会、マラソン大会、トライアスロン</li> <li>・ 抽選券・割引券配布(空港とマリンピア賀露とが、相互に配る。例えばマリンピア賀露ですなばコーヒーの割引券、空港でマリンピア賀露の割引券など)</li> </ul> <p>*今後の継続的な取組で</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鳥取砂丘ビジターセンターオープンでは、空の駅とタイアップして、賑やかなお祭りとして実施すること。</li> <li>・ 鳥取砂丘コナン空港の駐車場対策をおこなうこと。</li> </ul>	

要望項目	左 対 する 対 応 方 針 等
<p>○再犯防止推進法による計画として、平成34年度末までの鳥取県再犯防止推進計画が策定され、刑法犯検挙者中の再犯者率を20%にするとの指標を掲げている。再犯防止と仕事の関係について再犯をして刑事施設に戻った人の71.8%が無職との調査結果があり、再犯防止への就労支援が重要となる。</p> <p>1、鳥取県立ハローワークに起訴・執行猶予者、矯正施設出所者等への専門支援員の配置をすること。</p> <p>2、起訴・執行猶予者、矯正施設出所者等への鳥取県立ハローワークの利用の周知に取り組むこと。</p> <p>3、就労における協力企業の業種の拡大と雇用の増大を進めること。</p> <p>4、協力企業への矯正就労支援センターの周知を進めること。</p>	<p>今後の鳥取市への県立ハローワークの開設により、全県で県立ハローワークを展開する体制が整備できることを契機に、刑務所出所者、生活困窮者、ひきこもりなど就職困難な求職者の支援に向けて多様な機関との連携を強化していくこととしている。</p> <p>特に、再犯防止のための就労支援に関しては、刑務所、矯正施設、保護観察所などと緊密に連携し、求職者の能力特性を踏まえた求人開拓、県立ハローワークの利用周知、協力企業等への要請や矯正就労支援センターの周知等に取り組んでいく。</p> <p>なお、平成30年度当初予算において、起訴・執行猶予者等への適切な機関へのつなぎ等を行う相談支援員を、今後設立する「鳥取県社会生活自立支援センター」に配置することとしており、就労支援について県立ハローワーク等とも連携を図っていく。</p>
<p>○近年、県庁内で個人情報漏えいや誤送付、誤徴収等の不祥事がしばしば起こっている。毎回再発防止の報告と謝罪がされているが、不祥事がいまだに止んでいない。単に精神的な問題やマニュアルの不備などによるものではなく、人員配備や人員不足、人事異動サイクルが短いための不慣れなどが原因と考えざるを得ない。県庁全体で徹底して改善に取り組むこと。</p>	<p>個人情報の流出や誤徴収などについては、これまでから、事案が生じる度にその要因を分析し、同様のミスが生じないよう職員に対する注意喚起などを行ってきているところである。</p> <p>個人情報の流出については、思い込みによる単純なミスが目立つことを受け、「個人情報流出防止の手引き」を策定し、この手引きを使用して「ヒューマンエラー研修」を実施するとともに、流出事故が発生した所属から改善計画書や改善報告書の提出を義務付けることとした。今後は、所属における個人情報の取扱いに関する監査を実施していく。</p> <p>会計事務における誤徴収等については、個別に要因を分析し、財務会計事務の運用やシステムを見直し、職員側、システム側の双方から誤処理が生じない仕組みづくりを行った。</p> <p>今後も、職員に対する注意喚起のほか、これらの研修やシステムの見直しなどにより、個人情報の流出や誤徴収などが生じないよう、人員配置を含めて取組を進めていく。</p>
<p>○若桜町を中心とした若桜谷の防災・減災、安全確保のためにも積雪・気温・風・日照について観測されるよう、気象庁または気象台へ申し入れされたい。</p> <p>旧八頭郡には一ヶ所、智頭町に地域気象観測所があり、降水量・気温・風・日照・積雪量を観測している。他には降水量だけ観測する地域雨量観測所が、若桜町と佐治にある。しかし、若桜谷と智頭谷では降雪量や気温などかなり違っていて、防災上、農業経営上大きな影響がある。</p>	<p>若桜町の気象情報は、現在、気象庁の若桜観測所で降水量のみを観測し、国交省と鳥取県が7か所の観測所で、積雪深・気温（2か所）と雨量（7か所）を観測し、とっとり雪みちナビ（10か所）と共に、各ホームページ上で情報提供している。</p> <p>今後は、若桜町役場等の地元関係機関からも課題を聞き、必要に応じて気象庁等の関係当局に相談して参りたい。</p>

要望項目	左に対する対応方針等
<p>○2019年第53回全国ろうあ者体育大会に向けて、万全の準備をおこなうこと。</p> <p>*大会運営に携わる人と選手とのコミュニケーションが十分とれるようにすること。</p> <p>*大会には手話通訳者を十分に配置すること。そのために手話通訳者の育成や確保をおこなうこと。</p> <p>*手話通訳者が不足するようならば、有資格者でなくても、選手とのコミュニケーションがとれる程度のボランティア配置も考えること。</p> <p>*機運醸成を図り万全の準備を整えるためにプレイベントやプレ大会を実施すること。</p>	<p>県も実行委員会に参画していることから、十分な手話通訳者の配置、ボランティアの確保、また円滑な運営を実現するためのプレイベント等の開催など実行委員会の中で相談させていただき、必要な協力を行っていく。</p>
<p>○国民健康保険が県に移管されて、県として中高年健康づくり対策を進める必要がある。現在は市町村でばらばらに進められているが、県としての目標・対策の方針を決め、具体的に進めること（運動・体操、健康診断・勧奨、認知予防、コミュニケーションづくり、食生活改善等）。</p>	<p>県では、平成30年度を始期とする鳥取県健康づくり文化創造プラン（第三次）、第三期鳥取県医療費適正化計画及び鳥取県高齢者の元気と福祉のプラン（第7期）を策定し、健康づくりや、検診受診、食生活に係る具体の目標数値を設定するとともに、今後、目標達成に向けて計画に盛り込んだ各種施策に取り組んでいくこととしている。</p> <p>健康づくり全般に関しては、新たに鳥取県版の健康マイレージ事業に取り組むとともに、引き続き、地域や職域での健康づくりを進めるため健康づくり鳥取モデル事業を実施する。</p> <p>また、平成30年度から県も国民健康保険の一保険者となることから、検診受診勧奨センターの設置、医療費分析や市町村が行う保健事業への助言など、市町村と一体となって、県も保健事業に取り組んでいく。</p>
<p>○鳥取県教育審議会に夜間中学設置検討部会が設置され先進自治体への視察、夜間中学に関する需要調査や課題等について協議し開設の方向性を検討するとしている。</p> <p>1、県民への夜間中学等を知ってもらうHP等での周知や夜間中学に関する相談窓口の開設をおこなうこと。</p>	<p>夜間中学等の周知を図るために、5月中に県教育委員会ホームページに夜間中学等の概要について掲載するとともに、夜間中学等への潜在的入学希望者からのニーズ・意見を長期的に聴取するため、県教育委員会事務局内に相談窓口を設置したい。また、第1回の夜間中学等調査研究部会を6月13日（水）に予定している。</p>
<p>2、夜間中学等についてのフォーラムやシンポジウム、講演会等を開催し県民への周知を推進すること。</p>	<p>夜間中学等について、県民や潜在的入学希望者に十分に伝わっていないことも考えられることから、まずはパンフレット配布等の広報活動と併せてニーズの把握や意見の聴取を行う予定であるが、今後、シンポジウム等の開催についても検討していきたい。</p>

要望項目	左に 対 する 対 応 方 針 等
<p>【地域要望】</p> <p>○片原5丁目バス停留所乗車場での高齢者・障がい者への乗り降り時の安全対策を推進すること。(再掲：平成28年9月議会に向けての要望)</p> <p>バス停留所において、停留所看板、花壇等が密接しており、バス停車位置での乗り降りが厳しく、住民より改善してほしいとの声が出ている。</p>	<p>片原5丁目設置のバス停留所は100円循環バス及び路線バスの停留所であることから、それぞれのバス停の関係機関(鳥取市、日本交通、日ノ丸自動車)に対し、当該御意見をお伝えしたところである。バス停の関係機関の検討結果を待って、その後の県としての対応を検討させていただきたい。</p>
<p>○南安長2丁目・3丁目と緑ヶ丘2丁目・3丁目の間を流れる大井手川の雑草、雑木の伐採を実施しごみの不法投棄、悪臭による環境悪化対策を推進すること。</p> <p>(地区要望：川の水が見えないくらいに、雑草が成長しごみの不法投棄、悪臭等があり環境悪化している)</p>	<p>当県管理河川では、雑草が繁茂している場所が多く、全ての箇所に対応はできないため、優先順位の高いものから対応している。</p> <p>このような中、今年度、当該区間においては堤防除草を実施する予定である。</p> <p>また、中州の雑木や雑草等は治水安全の観点から優先順位が低いと、地元関係者の意見を伺いながら年次的な対応を検討していく。</p> <p>なお、ごみの不法投棄や悪臭などについても現地確認の上、関係機関と連携して対応を検討していく。</p>
<p>○日置川水門の排水用ポンプ操作盤へ向かうデッキの手すり等が老朽化しており、早期修理に取り組むこと。排水操作作業をする上で非常に危険な状況にある。(鳥取市青谷町青谷442-4付近)(再掲：平成29年11月議会に向けての要望)</p>	<p>当該施設の修繕については、平成30年度明許予算において今年度修繕する予定としている。</p>
<p>○県道「かにっこ空港ロード」に大型車両(ダンプカー)の往来があり、事故が心配される。ガードレールや避難路肩など設置をすること。</p>	<p>業界団体に安全運転の徹底を求める申し入れを行うとともに、現状を調査し、必要な対策について検討する。</p>
<p>○口細見地区の農業生活水路(十膳井手)は、大雨時水路入口に土砂がたまる。また老朽化で崩れかけている。取水口を付け替えるなど、抜本的な対策をとること。</p>	<p>現地の状況は確認しており、対応については、地元及び鳥取市の意向等を確認の上、検討してみたい。</p>